

ぶん活かわら版

発行日：令和2年（2020年）4月23日

発行者：滋賀県文化スポーツ部

文化財保護課文化財活用推進室

第20号

（電話番号：077-528-4681）



コロナに負けないぞ！！ おうちで文化財！

文化財は「本物を見る」ことが一番です。滋賀県は多くの文化財に恵まれているので、県内各地の文化財に親しんでいただきたいと思います。しかしながら、現在は新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛をお願いしております。

文化財に関するインターネットのサイトなどを紹介するので、今はおうちで文化財を楽しんで、収束後に、是非インターネットで出会った文化財の「本物」を見に行ってみてください。※紹介したものの以外でも、「デジタルミュージアム」「バーチャルミュージアム」等で検索すると、多くの博物館などが自宅でも楽しめる情報を提供しています。また、ホームページに様々な読み物などを掲載している博物館も多いですよ。

おうちで文化財を楽しもう！

○滋賀県立琵琶湖文化館 <http://www.biwakobunkakan.jp>



「近江の文化財」の中に、琵琶湖文化館の収蔵品が絵画・彫刻・工芸品などのカテゴリーごとに、写真と説明文で紹介されています。「彫刻」の中には、通常見ることが出来ないほとけさまの背中や足の裏の写真も！「書跡・典籍・古文書」には、今話題の「明智光秀多賀出生説」の元となった「淡海温故録」も掲載しています。

また、「刊行物・アーカイブ」では、文化館建設工事過程における昭和35年当時のモノクロ動画の視聴などもできます。

※画像・文章に関する著作権及び、肖像権は琵琶湖文化館に帰属します。無断転載及び無断掲載は禁止しております。

○滋賀県立図書館「近江デジタル歴史街道」 <https://www.shiga-pref-library.jp/wo/da/search/>



滋賀県立図書館は、県の貴重な財産である絵図や古文書、浮世絵などを所蔵しています。その資料をデジタル化した「近江デジタル歴史街道」では、種別ごと、地域ごとに資料を検索できます。さらに、「デジタルアルバム帖」では、特集ごとにまとめてデジタル資料を見ることができます。

2019年12月には「“麒麟”の夢舞台」、2020年4月には「森と湖の花祭り」を特集しています。美しい絵図、版本をめくる楽しさ、珍しい古絵葉書をお楽しみください。

○公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 <http://shiga-bunkazai.jp>



「よみもの」の中に、「オススメの逸品」「新近江名所図会」「びわこの考湖学」「わたしたちの仕事（現地調査・整理調査）」など、埋蔵文化財や史跡を中心に、読み応えのある様々なコラムが掲載されています。毎週更新されるので、滋賀の文化財の奥深さを実感できます！

よみもの

公益財団法人滋賀県文化財保護協会ホームページでは滋賀県の歴史を紹介するコラムを連載しています。

検索

検索

9日のイベント

○滋賀県立公文書館 <https://archives.pref.shiga.lg.jp>



滋賀県立公文書館は、今年4月1日に開館しました。

「**デジタル展示**」では、過去、県政史料室で行っていた企画展示を、写真と解説で見ることができます。見逃した展示も、じっくり楽しめます。なお、現在は開館記念展として「公文書管理の源流を探る一大正期の文書事務改革」の展示を、6月25日(木)まで県庁新館3階の滋賀県立公文書館で行っています(コロナ収束後にお越しください)。

「**デジタルアーカイブ**」では、旧村絵図などを見ることができます。明治時代、自分の住んでいる地域がどのような様子だったかを知ることができますよ。

○滋賀県立琵琶湖博物館 <https://www.biwahaku.jp>



琵琶湖博物館では、「**おうちミュージアム**」を実施しています。「おうちミュージアム」は北海道博物館が提唱し、全国各地59のミュージアムが参加しています。子どもと一緒に、ご家族で楽しんでください。

また、琵琶湖博物館は琵琶湖や生き物のことだけではありません! 「**収蔵品データベース**」も充実しており、歴史や民俗について、「**民具**」や「**人と暮らしアルバム**」で見ることができます。

○その他の県内の博物館など 大津市歴史博物館

<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>



彦根城博物館

<http://hikone-castle-museum.jp/>



国友鉄砲ミュージアム

<https://kunitomo-teppo.jp/ikkansai/>



大津市歴史博物館や彦根城博物館も収蔵品などのデータベースが充実しています。彦根城博物館では小中学生に向けて「探検しよう!彦根城博物館」が掲載されており、館内を探検しながら、井伊家に伝わる甲冑や調度品などについて学ぶことができます。

国友鉄砲ミュージアムでは、日本で初めて自作の反射望遠鏡で天体観測をおこなった国友一貫齋について詳しく知ることができ、最近発見された日本最古の飛行機設計図も見ることができます。

また、国立博物館所蔵の国宝・重要文化財が掲載されている **e 国宝** (<http://www.emuseum.jp>) では、教科書で見たことがある国宝や重要文化財を、様々な角度の写真と説明文で楽しめます。

新型コロナウイルスの影響により、「湖国の祭り歳時記」は、5月開催分まで休止いたします。その後は状況を見て再開いたします。申し訳ございません。